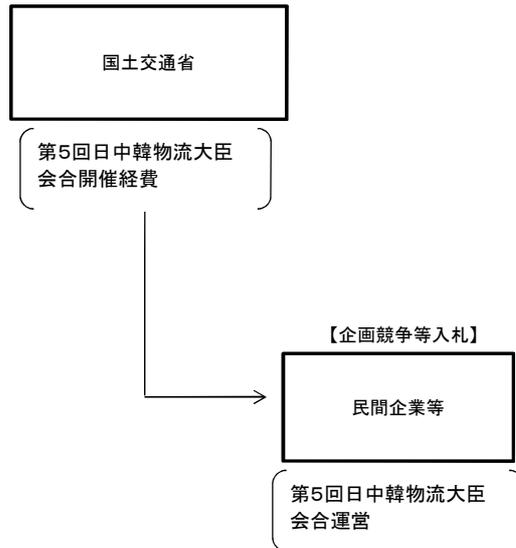


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	日中韓物流大臣会合開催経費		担当部局庁	総合政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	国際物流課	小瀬 達之			
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 19 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	総合物流施策大綱(2013-2017)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日中韓三国の経済依存関係が緊密化し、日中韓三国間の物流が重要な役割を担うようになる中、日中韓三国間の円滑な物流の実現に向け、課題を解決し、協力を推進することが重要となっている。このような情勢の中、日中韓三国は、物流協力を推進するための枠組として、2006年に第1回日中韓物流大臣会合を開催し、また、前回の第4回大臣会合(2012年7月釜山)において、日中韓三国は、次回大臣会合を日本で開催することで合意した。北東アジアにおけるシームレス物流システムの実現等に向けた取組としてこれまで実施されてきた日中韓物流大臣会合を引き続いて実施すべく、第5回日中韓物流大臣会合を日本で開催する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	大臣会合における議論がより充実したものとなるよう、会合全体を円滑に運営することは開催国の責務である。そのため、我が国が会合を主導できるよう、ロジに係る人員配置・スケジュール計画の策定、会場運営者・警備会社との設置・警備に係る調整、必要機材・備品の用意等の事前準備、また、会場設営、会場警備、参加者の誘導・案内、機器のオペレーション等の当日運営を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	33	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、大臣会合の開催に向けた準備及び当日の運営に関するものであり、定量的に成果目標及び成果実績を示すことは難しい。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	第五回日中韓物流大臣会合の開催			活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
					()	()	()	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	会議費	-	0.1百万円					
	会場借上料	-	15百万円					
	速記料	-	0.1百万円					
	通訳料	-	0.6百万円					
	翻訳料	-	0.4百万円					
	印刷製本費	-	0.3百万円					
	技術経費等	-	16.5百万円					
計		33百万円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国の質の高い物流システムの国際展開を推進するうえで、各国の制度上・慣習上の課題が多く存在する。これらについて、民間だけで対応できる範囲は限られることから、国家レベルの対話を通じたトップダウンによる制度・慣習の調和に向けた働きかけが必要である。また、これにより、我が国産業の発展に寄与する。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	他部署における大臣級会合の開催事例や、大規模な国際会議の運営実績を持つ民間事業社へのヒアリング等を通じて、より効率的かつ効果的な事業の実施についても、併せて検討する。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	他の大臣会合の事例等を参考にして、効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※その他、速記・通訳・翻訳等で支出予定。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					